



グローバル COE 「新炭素資源学」 キックオフ国際会議を開催

概要

九州大学と福岡女子大学は、今年度採択され事業を開始したグローバル COE プログラム、「新炭素資源学」拠点の第 1 回国際シンポジウムを 10 月 26 日（日）に、ホテルグランドハイアット福岡で開催します。世界的に資源・エネルギー・環境問題への危機感が高まる中、新炭素資源学拠点は、大学の力を結集し、環境にやさしい炭素資源の有効利用についての先端研究を実施し、若手研究者人材を育成するプログラムを実施しております。シンポジウムではそのねらい、現状を説明し、産学連携、国際連携先からの講師による講演をおこない、問題解決へ向けての基盤を構築します。

■背景

アジアを中心とする発展途上国の急速な経済発展は、エネルギー資源の消費拡大を生み出し、現実的なエネルギー源である石油、天然ガス、石炭等の高騰と争奪戦、さらには、これらの資源の不用意な利用による国境を越えた環境汚染、温暖化ガスの発生等が世界的な問題となっています。炭素資源は、現在、近未来に必須のエネルギー資源であるだけでなく、人類生活になくてはならない化学原料の唯一のソースであり、その効率的な利用、原子力等他のエネルギー資源との計画的利用により持続的社会的構築が必要です。大学においては、その基盤を形成する炭素資源の最先端基礎研究とこれらに携わる若手研究者人材の育成が、わが国が緊急に解決すべき問題となっています。

■内容

文部科学省は、日本学術振興会を通じて「国際的に卓越した教育研究拠点形成のための重点的支援」を図るグローバル COE プログラムを平成 19 年度より公募していますが、九州大学と福岡女子大学は、今年度（平成 20 年度）、「地球への環境負荷なき炭素資源利用」の新しい学理の創造と、実践的な先端研究を通じた若手研究者人材育成をめざして、「新炭素資源学」拠点を本年 7 月に発足させました。拠点には、九州大学の 3 学府 7 専攻、福岡女子大学の 1 専攻に属する教員、学生が参加し、国際的なネットワークや産学連携研究を活用した教育研究を実施しています。今回、その第 1 回の公開シンポジウムとして、「新炭素資源学第 1 回国際シンポジウム [キックオフシンポジウム]」を 10 月 26 日にホテルグランドハイアット福岡で開催します。

■効果

シンポジウムでは、拠点メンバーによる事業内容（研究と教育プログラム）の説明、先端研究例の紹介をおこなうほか、産学連携先の 1 つである電力中央研究所からの講師による「わが国の電力と炭素資源問題」講演、国際連携先である、中国・上海交通大学、韓国・エネルギー研究院、インドネシア・バンドン工科大学、オーストラリア・モナシュ大学からの講師による、「各国の資源・エネルギー・環境問題の現状と炭素資源学への期待」についての講演がおこなわれ、ホットな話題であるグローバルな資源・エネルギー・環境問題についての共通理解を深め、大学として取り組むべき課題を議論します。

■今後の展開

新炭素資源学拠点は、平成 20 年度から 24 年度の 5 ヶ年の予定で「新炭素資源学」の確立と炭素資源の有効利用と炭素資源に関する環境問題の解決に向けて、「石炭の環境負荷なき有効利用」をひとつの象徴として先端研究と人材育成活動を展開します。今後とも、世界的な講師を招聘した公開シンポジウムでその活動を紹介し、未来の豊かな人類生活を維持するための基本問題を討論していく予定です。

【お問い合わせ】

先導物質化学研究所長・G-COE「新炭素資源学」拠点リーダー 永島 英夫

電話：092-583-7819、携帯090-2511-5899

FAX：092-583-7819

Mail：nagasima@cm.kyushu-u.ac.jp